



2024年5月13日

各位

上場会社名	東邦亜鉛株式会社	
代表者	代表取締役社長	伊藤 正人
(コード番号	5707)	
問合せ先責任者	経理部長	藤原 圭吾
(TEL	03-6212-1711)	

営業外費用及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2024年度3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）において、営業外費用及び特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 概要

2024年4月5日に「当社持分法適用関連会社に対する債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ」にて公表しましたとおり、豪州連結子会社のCBH Resources Limited（以下、CBH社）を通じて当社が40%を出資している持分法適用関連会社であるAbra Mining Pty Limited（以下、Abra）が2024年4月4日開催の同社取締役会において、豪州会社法に基づく任意管理手続（Voluntary Administration）開始を決議しました。これに伴い、同社の事業運営及び財産管理は同社取締役会が選定した任意管理人によって行われており、現在その管理下において操業を継続しておりますが、今後、債権者集会を経て同社の方向性が決定されることとなります。

かかる状況を受けて、2023年度末において、Abra株式や同社に対する金融債権の回収可能性及び債務保証発生の蓋然性を検討した結果、連結決算において、Abra株式の減損としての持分法による投資損失を計上いたしました。また、任意管理手続下において再建も視野に入れた検討が進められておりますが、現時点におけるその財政状態を勘案して、同社への貸付金及び原料前渡金に対する貸倒引当金並びに同社債務に対する債務保証損失引当金を計上いたしました。

また、個別決算において、当該持分法による投資損失及び貸倒引当金の計上によりCBH社の債務超過が拡大することとなったことから、同社への貸付金に対する貸倒引当金及び関係会社事業損失引当金を計上いたしました。

2. 当社業績に与える影響

(1) 連結業績への影響（営業外費用及び特別損失の計上）

2023年度第4四半期において、Abra株式の減損としての持分法による投資損失66億円を営業外費用に計上し、通期では97億円を計上いたしました。

また、Abraへの貸付金及び原料前渡金に対する関係会社貸倒引当金繰入額37億円、同社債務に対する関係会社債務保証損失引当金繰入額50億円を特別損失として計上いたしました。

(2) 個別業績への影響（特別損失の計上）

2023年度第4四半期において、CBH社の債務超過拡大に伴い、同社に対する関係会社貸倒引当金繰入額及び関係会社事業損失引当金繰入額106億円を特別損失として計上し、通期では139億円を計上いたしました。なお、当該特別損失については、連結決算において内部取引として全額消去されるため、連結業績へ与える影響はありません。

また、Abraへの原料前渡金に対する関係会社貸倒引当金繰入額30億円、同社債務に対する関係会社債務保証損失引当金繰入額50億円を特別損失として計上いたしました。

以上